

委員長

名城大学理工学部教授

松井 寛 まつい ひろし

今回の選考は応募件数42件の中から運営幹事会によって推薦された16件について、7名の選考委員が手分けして現地視察を行った。年々各グループの活動が進化を遂げ優劣付け難くなってきているが、今回は企業・学校部門に比較的優れた活動が多かったように思う。

副委員長

名古屋工業大学大学院教授

山本 幸司 やまもと こうし

中部の未来創造大賞への応募数が減っていることは残念であるが、今回は選外となった中にも活発な活動を継続している組織が多く、また住民が行政と協働して活動しておられるような新しい取り組みも見受けられ、今後とも大いに期待したい。今回受賞なされた組織には敬意を表させて頂くとともに、受賞が最終目的ではなく、活動の一プロセスであることをご理解頂きたいと思う。

委員

三重大学特命学長補佐

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

選ばれた事例は、地域を愛に根ざし、特色ある地域貢献活動を様々な連携・協働により展開されている点、「新しい時代の公」のモデルと評価できる。行政部門の応募が少ないのは残念で、住民、NPO等との協働活動など、創意工夫に基づく新たな挑戦を期待したい。



選考を終えて
(表彰委員より)

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

受賞された団体は今までにない着眼と実行力を示した活動内容だった。しかしどの団体にも継続可能性や資金など今後の課題はあると思う。本当に目指す目標に向かってさらに工夫と努力を積み重ねて欲しいと思う。

委員

中日新聞論説委員

前田 弘司 まえだ こうじ

本年度は全体に応募件数が少なかったと指摘されたが、高校生の若い世代が真剣に地域振興に取り組んだ事例が目立ったのは、頼もしい限りである。過去に登場した案件の再応募もいくつかあったが、活動に進展があったものと、同工異曲のものに別れたのが印象的であった。

委員

(社)中部経済連合会専務理事

山内 拓男 やまうち たくお

今回は応募件数が例年に比べ少なかったですが、実際に現地調査でお邪魔して活動内容を伺い、多くの地域に根ざした地道な活動に触れることができ、改めて頭の下がる思いがしました。各団体の今後の活動がますます発展されることを祈念いたします。

委員

国土交通省中部地方整備局長

富田 英治 とみだ えいじ

今回の「中部の未来創造大賞」には、地域一体となった連携・協働による活動や、地域の課題の解決に取り組む活動が多く見られました。今後も、みなさんの熱意ある活動が、継続的に取り組まれ、発展していくことにより、新しい中部の「地域づくり」に繋がっていくことを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

社団法人
土木学会 中部支部

中部電力株式会社

社団法人
中部建設協会

社団法人
日本土木工業協会 中部支部

社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

社団法人
長野県建設業協会

社団法人
岐阜県建設業協会

社団法人
静岡県建設業協会

社団法人
愛知県建設業協会

社団法人
三重県建設業協会

中日新聞社

後援/社団法人
中部経済連合会